Lymo

M42 SQUARE

取扱説明書

ご使用になる前に、必ずクイックスタートガイドと本書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後も、いつでも見れる場所に大切に保管してください。

商標と著作権

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この「取扱説明書」では製品の操作方法と機能についてご紹介しています。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」および「取扱説明書」の内容をよくお読みください。

※お買い上げ後初めて使用する場合や長時間使用しなかった場合は、必ず充電してご使用ください。

注意

- 本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の承諾を得ずに複製，配布，配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。
- 本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品およびパソコンの不具合によりデータが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。
- 記載の外観および仕様は、改善などのため予告なく変更される場合があります。

ユーザー登録でさらに安心！ http://www.iriver.jp/support/

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見れる場所にクイックスタートガイド（保証書付）と共に大切に保管してください。

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警 告**　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注 意**　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

🚫記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意

⚠ 警　告

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに本製品の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。
●万一内部に水などが入った場合は、まず本製品の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
●万一本製品の内部に異物が入った場合は、まず本製品の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

●風呂場・シャワー室では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

水場での使用禁止

● AC アダプターをご使用の際に雷が鳴り出したら、AC アダプターには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

＊ AC アダプターと記載されている部分は、別売りの AC アダプターをご使用した場合となります。
USB ケーブルまたは USB コネクタをご使用している場合は、ケーブルまたはコネクタをパソコンから抜いてください。

安全上のご注意

⚠ 警　告

●本製品に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。雨天，降雪中，海岸，水辺での使用は特にご注意ください。

水濡れ禁止

●万一、本製品を落したりキャビネットを破損した場合は、本製品の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

●本製品の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●本製品の上や近くに花びん，植木鉢，コップ，化粧品，薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

●本製品の上に重い物を置かないでください。破損した場合、火災・故障の原因となります。

●本製品のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理はサポートセンターにご依頼ください。

●本製品を改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

分解禁止

＊ AC アダプターと記載されている部分は、別売りの AC アダプターをご使用した場合となります。
USB ケーブルまたは USB コネクタをご使用している場合は、ケーブルまたはコネクタをパソコンから抜いてください。

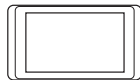
安全上のご注意

⚠ 注　意

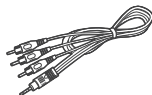
●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

●再生する前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
●自動車やバイク，自転車の運転中は、イヤホンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
●大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。
●カバンやポケットに入れて持ち運ぶ際、液晶画面や外装が破損する場合がございます。ご注意ください。

パッケージ内容の確認

パッケージの内容は予告なく変更される場合があり、図とは異なる場合があります。

M42

クイックスタートガイド/保証書

イヤホン

AVケーブル

USBケーブル

USBコネクタ

各部の名称

本体

ボリュームー
前へ 次へ
再生 / 一時停止
/ 決定
ボリューム +
戻る
USB 端子
microSD(TF)
カードスロット
イヤホン端子
電源スイッチ /
ロックスイッチ
マイク /
リセットホール
液晶画面（タッチパネル）
内蔵スピーカー

各画面

【音楽再生中】

曲名
ファイルのフォーマット
音量
バッテリ残量
ファイルNo / フォルダ内の曲数
EQ設定
経過時間
リピートモード
再生時間
再生/一時停止
プログレスバー
A-B区間リピート
再生モード

【FM放送受信中】

音量
選局方法
受信地域
受信中の周波数
チャンネル
ステレオ放送
周波数のインジケータ

各部の名称

【ボイス録音中】

録音 04:38PM 17
待機中 VREC001. WAV
RECORD
00:00:00
137:31:0

録音しているファイル名
録音音質
録音時間
録音可能時間
プログレスバー

【カレンダー】

プログラム 06:24PM 17
カレンダー 2010/07/27

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				01	02	03
04	05	06	07	08	09	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

日付

電源のオン／オフ

■ 電源のオン

本製品右横にある電源スイッチを上へスライドさせて、約 2 秒間押さえると電源が入ります。

電源スイッチ

■ 電源のオフ

再度電源スイッチを上へスライドさせて、約 2 秒間押さえると電源が切れます。

＊画面表示言語について
工場出荷時の設定によっては、画面表示が英語などの他国語に設定されている場合がありますので、日本語設定にしてください。
P.37 の［システム言語選択］をご覧ください。

＊本製品はバッテリーの消耗を防ぐため、電源オフ機能があります。
P.36 の［自動シャットダウン］,［電源オフ設定］をご覧ください。

メニューの切り替え

① 電源を入れるとメインメニュー画面が表示されますので、メインメニューから各メニューを本体の |◀◀ / ▶▶| ボタンを押して選択し、本製品の ▶II ボタンを押して決定するか、メニューアイコンを指でタッチして選択します。

＊本製品はタッチパネルを採用しているので、画面上のアイコンやメニュー項目を指でタッチして操作できます。

② 本製品の |◀◀ / ▶▶| ボタンを押すか画面下の ∧ / ∨ アイコンをタッチしてカーソルを移動させて各メニューを選択し、本製品の ▶II ボタンを押すか画面下の ↵ アイコンをタッチして決定します。

③ メニューを表示している時に 1 つ前の画面に戻したい時は、本製品の M ボタン押すか画面上の ↰ アイコンをタッチします。メニューを表示している時にメインメニューに戻したい時は、M ボタンを約 2 秒間押します。

＊再生中は M ボタンを押して再生リストを表示してから戻すことができます。

ホールド機能とリセット機能

■ホールド機能

誤操作を防ぐため、画面操作をロックモードにすることができます。

① 電源スイッチを下へスライドさせるとロックアイコンが表示され、画面がロックモードになります。

＊時間を設定して自動的にロックモードに切り替えることもできます。P.36 の［キーロック時間］をご覧ください。

② 電源スイッチを上へスライドさせるとロック解除アイコンが表示され、ロックモードが解除されます。

■リセット機能

本製品が正常に動かなくなった場合は、強制的に再起動することができます。

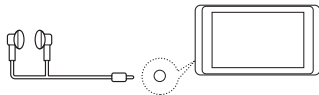
クリップなど先の尖っていないものをリセットホールに挿し込みます。

＊リセットを実行しても日付 / 時刻の設定や内部メモリのデータは削除されません。

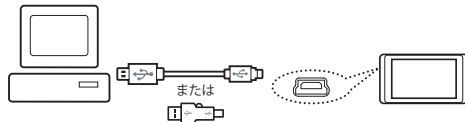
接続・充電

初めに充電をしてからお使いください。充電は付属の USB ケーブルまたは USB コネクタを使って本製品とパソコンを接続して行います。

イヤホンを接続する

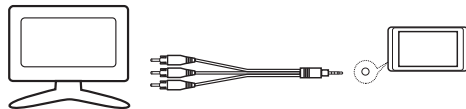
① イヤホン端子にイヤホンを接続します。

パソコンと接続する

① 本製品とパソコンの電源をオンにし、付属の USB ケーブルまたは USB コネクタで接続します。

または

テレビと接続する

① 本製品とテレビの電源をオンにし、付属の AV ケーブルを本製品のイヤホン端子とテレビの AV 端子に接続します。

＊接続したテレビに合った出力方式に切り替えます。
P.35 の［TV 出力設定］をご覧ください。

＊テレビへの切り替え方法は、P.19 の「動画をテレビで楽しむ」をご覧ください。

充電について

パソコン側と正しく接続されると画面にアイコンが表示され、充電およびデータ転送ができます。

充電に関する注意事項

- 付属の USB ケーブルまたは USB コネクタ以外のケーブルまたはコネクタは使用しないでください。誤動作の原因となります。
- USB ケーブルまたは USB コネクタは、パソコン本体の USB ポート（2.0 規格）に直接接続してください。USB ハブや周辺機器付属の USB 端子を使用した場合、十分な充電ができない場合があります。
- パソコンがスタンバイモードに移行すると、本製品の充電が行われないことがあります。
- 室内で充電を行ってください。室外など極端に温度が高いまたは低い場所では、充電が正常に行われない場合があります。
- 約 3 時間で充電完了します。本製品を使用しながらの充電は、さらに時間を要する場合があります。

パソコンから取り外す

① パソコンのタスクバーのアイコンをクリックし、「ハードウェアの安全な取り外し」を使用して本製品を取り外します。

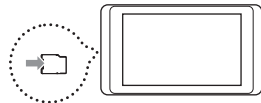
② 「USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します」をクリックします。

③ 本製品と USB ケーブルまたは USB コネクタを取り外します。

＊タスクバー上のアイコンは、オペレーティングシステムによっては表示されない場合があります。隠れているアイコンを表示するには、「<」をクリックします。
＊ Windows Explorer などのアプリケーションが実行されている間は、「ハードウェアの安全な取り外し」が実行できない場合があります。すべてのアプリケーションを終了してから「ハードウェアの安全な取り外し」を実行してください。
＊「ハードウェアの安全な取り外し」が正しく実行できない場合は、数分後に再実行してください。「ハードウエアの安全な取り外し」を使用しないで取り外した場合は、本製品のメモリの情報が消失されることがあります。

microSD カードの挿し込み / 取り出し

① 本製品の電源をオフにし、microSD カードスロットへ microSD カードを挿入し、矢印の方向へカチッと音がするまで押し込みます。
② microSD カードを取り出すには、再度軽く押します。

＊ microSD カードは SDHC 32GB まで対応。
＊ microSD カードは別売りです。
＊ microSD カードへの転送速度はパソコン環境によって異なります。

microSD カードに関する注意事項　データの消滅や故障の原因となります。

・microSDカードを挿入する際、過度の力を加えないでください。
・microSDカードへデータを転送中は、カードを取り外さないでください。
・microSDカードを挿し込み・取り外しを繰り返さないでください。
・microSDカードのフォーマット中は電源をオフにしたり、カードの取り外しをしないでください。
・本製品がmicroSDカードを認識しないなどの不具合がある時は、カードを初期化してください。
・microSDカードを初期化すると記録したすべてのデータが消去されます。大切なデータはバックアップをお取りください。
・パソコンで2GB以上のmicroSDカードをフォーマットするときは、FAT32システムで初期化してください。
・消去されたデータは復活できませんので、ご注意ください。

本製品は、パソコンの「コンピュータ」（または「マイコンピュータ」）にリムーバブルディスクとして表示される本製品内のデータフォルダに、各種データファイルの保存や削除、フォルダの作成などができます。容量の大きいデータファイルを持ち運ぶときなどにご利用ください。

ファイルの保存／コピー／削除

① 付属の USB ケーブルまたは USB コネクタで本製品とパソコンを接続します。
② 本製品がパソコンにリムーバブルディスクとして表示されます。
③ リムーバブルディスク内の各フォルダにファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップでコピーします。
④ リムーバブルディスク内にファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップでコピーします。
⑤ 削除する場合は、削除したいファイルを選択し、右クリックで表示される「削除」を選択します。

ファイルのコピー／削除の注意事項

・本製品から削除したファイルはごみ箱に残らず、すぐに消去されます。
・ファイルコピー中は、電源をオフにしたり、USB ケーブルまたは USB コネクタを外したりしないでください。ファイルの消滅や故障の原因となります。

音楽を聴く

準備 対応した形式の音楽ファイルを、パソコンから本製品へ転送します。
＊対応ファイル形式：WAV, MP3, WMA, OGG, ASF, FLAC, APE, AAC

音楽を再生する

ボタン操作 メニュー［音楽］アイコンタッチ

① メニューから選曲方法を |◀◀ / ▶▶| ボタンを押すか画面下の ∧ / ∨ アイコンをタッチして選択し、▶II ボタンを押すか ↵ アイコンをタッチします。

すべての音楽	すべての曲のタイトル
お気に入り	［お気に入り登録］を設定した曲の一覧（P.15 の「お気に入りに登録する」をご覧ください）
アーティスト	アーティスト名→曲のタイトル
アルバム	アルバム名→曲のタイトル
ジャンル	ジャンル名→曲のタイトル
フォルダ	フォルダ→曲のタイトル
録音ファイル	本製品で録音した音声ファイル
メディアライブラリの更新	手動でデータベースを更新します。

② 音楽ファイルリストから再生するファイルを |◀◀ / ▶▶| ボタンを押すか画面下の ∧ / ∨ アイコンをタッチして選択し、▶II ボタンを押すかファイル名をタッチします。

＊ microSD カードを挿入した時は、［フォルダ］→ [本体メモリ /microSD カード] から選曲できます。
＊再生中は、音楽ファイルに歌詞情報がある場合のみ歌詞を表示します。

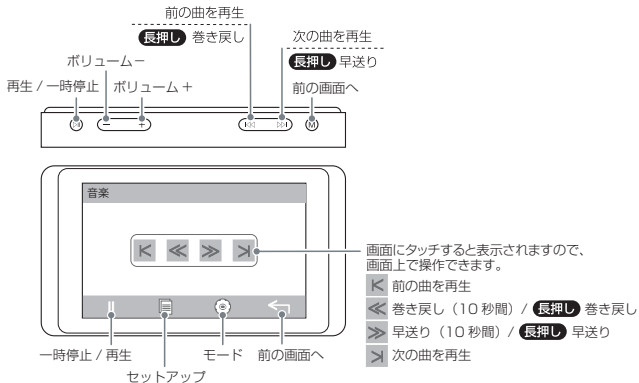
■再生中の基本操作

前の曲を再生
長押し 巻き戻し
次の曲を再生
長押し 早送り
ボリュームー
再生 / 一時停止 ボリューム＋
前の画面へ

音楽

画面にタッチすると表示されますので、
画面上で操作できます。

- 前の曲を再生
- 巻き戻し（10 秒間）/ 長押し 巻き戻し
- 早送り（10 秒間）/ 長押し 早送り
- 次の曲を再生

一時停止 / 再生
セットアップ
モード
前の画面へ

■再生中画面でのサブメニュー

リピートモード< A-B 区間リピート>

再生中の音楽の A から B までを繰り返し再生します。

① 音楽再生中に電源スイッチを上へスライドして、開始点（A）を指定します。
② もう一度電源スイッチを上へスライドして、終点（B）を指定します。
- 画面上部に「A-B」が表示され、A-B 区間が繰り返し再生されます。
- リピートを解除するときは、電源スイッチを上へスライドします。

■音楽と画像を同時に楽しむ

音楽の再生中に［画像］メニューに移動して、画像の表示やスライドショーを実行することができます。
P.22「画像を見る」をご覧ください。

■再生画面に戻る

再生中に他の楽曲を探したりサブメニューで設定した後などに再生画面に戻る場合は、下記の方法で操作してください。
- M ボタンを押すか画面の ↰ アイコンをタッチして 1 つ前の画面へ戻して［再生中］を選択
- メニューを表示中に M ボタンを約 2 秒間押して、メインメニューから［音楽］→［再生中］を選択

■ G センサー機能を使う

［G センサー設定］の［音楽再生］を［開始］に設定しているときは、本製品を振ると次の曲へスキップします。P.35 の［G センサー設定］をご覧ください。
＊音楽を聴きながら画像を表示しているときは、［写真再生］の［G センサー設定］が実行されます。

■画面下のアイコンのメニュー画面を閉じる

M ボタンを押すかメニュー右上の ☒ をタッチしてください。

お気に入りに登録する

ボタン操作 ［お気に入り登録］ アイコンタッチ

■お気に入り登録

お好みのファイルをお気に入りに登録します。

ファイルリストを表示して アイコンをタッチし、登録したいファイル名の右に表示されている ♥ をタッチします。 確認メッセージが表示されたら［Yes］を選択し、▶II ボタンを押すか［Yes］をタッチします。

（→ [お気に入り] から再生できます。）

■お気に入りのファイルを削除する

お気に入りに登録されているファイルを削除します。

［お気に入り］のファイルリストを表示して アイコンをタッチし、削除したいファイル名の右に表示されている アイコンをタッチします。確認のメッセージが表示されたら［Yes］を選択し、▶II ボタンを押すか［Yes］をタッチします。

セットアップメニューを設定する

ボタン操作 [セットアップ] アイコンタッチ

PlayFX 設定

サウンドの立体感を強調する効果を設定します。

3D	音響に立体感を持たせる 3D サウンドモード
Bass	低音を強調したサウンド
音量自動調節	ファイルごとに違う最大音量を一定の音量に調節します。

* EQ 設定で [PlayFX] を指定して利用します。

EQ 設定

再生される音質を設定できます。設定した EQ は画面に表示されます。

Normal	癖のない標準的な設定
PlayFX	音響に立体感を持たせる 3D サウンドモード　上記の [PlayFX 設定] をご覧ください。
Rock	ロックに適した、ボーカルを強調
Pop	やや重低音を増強しリズムパートを強調
Classic	クラシック音楽に適した設定
Bass	低音を強調
Jazz	ピアノの音を美しく、透明感ある音質
User EQ	[User EQ (設定)] で変更したカスタム EQ を使用する。P.17 の「User EQ 設定」をご覧ください。

User EQ 設定

周波数帯ごとにレベルを調整し、独自の音響効果を設定します。

＊ [EQ 設定] で [User EQ] を指定して利用します。

＊音声ひずみを避けるため、レベルを高く設定しないでください。

|◀◀ / ▶▶| ボタン：周波数帯の選択（50/200/1K/3K/14K）

－ / ＋ボタン：レベルの増減

調整が終了したら［Yes］をタッチして決定します。

フェードイン設定

再生したときに突然の大音量を防ぐため、小さい音量で再生を開始し、徐々に音量を大きくします。

再生から設定されている音量に戻るまでの時間を設定します。[無し /1 秒 /2 秒 /3 秒 /4 秒 /5 秒]

モードメニューを設定する

ボタン操作 ［モード］ アイコンタッチ

リピートモード

音楽のリピートモードを設定します。

1 曲再生	対象の曲を 1 曲再生	1⊃
1 曲リピート	1 曲を繰り返し再生	⊂1⊃
全曲再生	対象の曲を全て再生	A⊃
全曲リピート	対象の曲を全て繰り返し再生	⊂A⊃
イントロ再生	全ての曲のイントロのみ再生	

再生モード設定

音楽の再生モードを設定します。

順次再生	対象の曲を続けて再生	0
シャッフル再生	ランダムな順番で再生	R

画面表示

再生中の画面表示を設定します。［タイトル表示 / イコライザー表示］

動画を見る

準備 対応した形式の動画ファイルをパソコンから本製品へ転送します。
対応ファイル形式：RM, RMVB, AVI, MPEG1, MPEG2, MPEG4, WMV, FLV（H.263)

動画を再生する

ボタン操作 メニュー［ビデオ］アイコンタッチ

① ［フォルダ］を選択し、▶II ボタンを押すか ↵ アイコンをタッチしてファイルリストを表示します。
② 再生する動画ファイルを I◀◀ / ▶▶I ボタンを押すか画面下の ∧ / ∨ アイコンをタッチして選択し、▶II ボタンを押すかファイル名をタッチします。

■動画をテレビで楽しむ

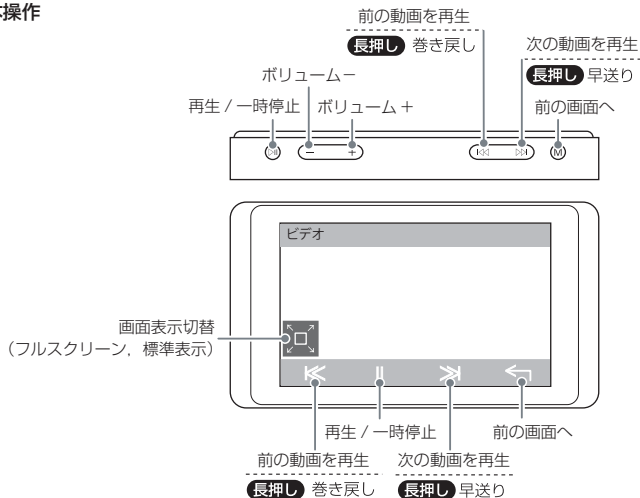
本製品をテレビに接続して、大画面で見ることができます。

① 付属の AV ケーブルを本製品とテレビに接続します。
② 接続したテレビに合った出力方式に切り替えます。
P.35 の［TV 出力設定］をご覧ください。
③ 動画を再生し、電源スイッチを上へスライドさせます。
本製品で再生していた動画がテレビへ切り替わって映ります。
④ 再生を本製品に戻すには、もう一度電源スイッチを上へスライドさせます。

動画を見る

■再生中の基本操作

前の動画を再生
長押し 巻き戻し
次の動画を再生
長押し 早送り
ボリュームー
再生 / 一時停止
ボリューム +
前の画面へ

ビデオ
画面表示切替
（フルスクリーン，標準表示）
再生 / 一時停止
前の画面へ
前の動画を再生
長押し 巻き戻し
次の動画を再生
長押し 早送り

ビデオメニューから設定する

ボタン操作 メニュー［ビデオ］アイコンタッチ

再開

前回最後に再生した動画の続きから再生します。（再生 2 度目以降から表示されます。）
［再開情報削除］を行うと［再開］メニューは削除されます。

フォルダ

再生できるファイルリストを表示します。
＊ microSD カードを挿入した時は、［本体メモリ /microSD カード］から選択できます。

再開情報削除

前回最後に再生した動画の情報を削除します。（再生 2 度目以降から表示されます。）
削除を行うと［再開情報削除］メニューは表示されません。

送り速度

早送り / 巻き戻しの速度を設定します。［× 2/×4/×8/×16/×32］

リピート設定

動画のリピートモードを設定します。

一回再生	対象の動画を一回再生
すべて再生	対象の動画をすべて再生
すべてリピート	対象の動画をすべて繰り返し再生

画像を見る

準備 対応した画像ファイルを、パソコンから本製品へ転送します。
対応ファイル形式：JPEG，BMP，GIF

画像を表示する

ボタン操作 メニュー［写真］タッチ

① ブラウザーが表示され、画像ファイルがフォルダ内にある場合は、⏮ / ⏭ ボタンを押してフォルダを選択し、▶ll ボタンを押すかフォルダをタッチします。

＊ microSD カードを挿入した時は、［本体メモリ /microSD カード］から選択します。

② 再生するファイルを ⏮ / ⏭ ボタンを押して選択し、▶ll ボタンを押すかファイル名をタッチします。

■ G センサー機能を使う

［G センサー設定］の［写真再生］を［開始］に設定しているときは、本製品を振ると次の画像へスキップします。P.35 の［G センサー設定］をご覧ください。

＊［G センサー設定］と［スライドショー］は同時に行うことはできません。

■ 画像の自動回転

［G センサー設定］の［写真再生］を［開始］にしているときは、本製品を回転させると画像も自動的に回転します。

＊画像は回転すると画面サイズに適した大きさに拡大・縮小されます。

画像を見る

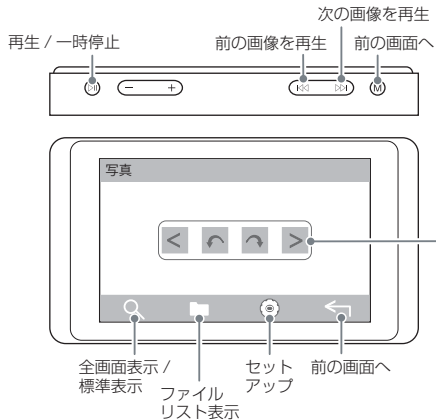
■表示中の基本操作

再生 / 一時停止

前の画像を再生

次の画像を再生

前の画面へ

写真

画面にタッチすると表示されますので、
画面上で操作できます。

< 前の画像を表示

左へ 90゜回転

右へ 90゜回転

タッチするたびに90゜回転します。
画像が切り替わると元に戻ります。

> 次の画像を表示

全画面表示 / 標準表示

ファイルリスト表示

セットアップ

前の画面へ

セットアップメニューを設定する

ボタン操作 ［セットアップ］ アイコンタッチ

スライドショー

スライドショーはファイルリストの各画像ファイルを自動的に切り替えながら表示します。
スライドショーの実行時に、各画像が表示される時間を指定します。［終了 /5 秒 /10 秒 /15 秒］
＊スライドショーが終了されると自動的に設定も［終了］になります。
＊［G センサー設定］と同時に使用することはできません。［G センサー設定］の［写真再生］を［停止］にしてからご使用ください。P.35［G センサー設定］をご覧ください。

壁紙に設定する

画面の背景を設定します。
背景にしたい画像を表示させて［壁紙に設定する］を実行します。

壁紙を復元する

画面の背景を元の画像に戻します。

■画面下のアイコンのメニュー画面を閉じる

M ボタンを押すかメニュー右上の ☒ をタッチしてください。

準備 **受信する放送局をあらかじめ登録（プリセット）しておくことができます。**

＊ P.27「よく聴く放送局を登録する（プリセット)」をご覧ください。

＊FM 放送を受信するには、放送局をあらかじめ登録しておき、その中から選局する方法と、周波数を手動で合わせて選局する方法があります。
＊日本国内で FM 放送を受信するには、［受信設定］メニューの［受信地域］を設定します。P.30 の［受信地域］をご覧ください。

FM 放送を受信する

ボタン操作 **メニュー［FM ラジオ］アイコンタッチ**

＊本製品はイヤホンコードをアンテナとして使用します。受信状態を良くするためにイヤホンコードをなるべく長く伸ばしてお聴きください。
＊ステレオ受信している場合でもノイズが入る場合には、受信環境を変えてお試しください。

■手動での選局

① FM 放送受信画面を表示し、 アイコンをタッチしてチャンネル設定メニューを表示し、［手動検索］を選択します。

② |◀◀ / ▶▶| ボタンを押すか画面の ＜/＞ アイコンをタッチして放送局の周波数に合わせます。

＊ |◀◀ / ▶▶| ボタンを短く押すか画面の ＜/＞ アイコンを短くタッチして放すと、周波数を 0.1MHz ずつ変更します。
|◀◀ / ▶▶| ボタンを約 1 秒間押すか画面の ＜/＞ アイコンを約 1 秒タッチすると、受信可能な放送が見つかるまで自動的に周波数を変更しつづけます。もう 1 度ボタンを押すかアイコンをタッチすると停止します。

■プリセットモードでの選局

① FM 放送受信画面を表示し、 アイコンをタッチしてチャンネル設定メニューを表示し、［プリセットモード］を選択します。

② |◀◀ / ▶▶| ボタンを押すか画面の ＜/＞ アイコンをタッチして、プリセットした放送局の中から選びます。

＊ |◀◀ / ▶▶| ボタンを押すか画面の ＜/＞ アイコンをタッチするごとに、プリセットした放送局を切り替えます。

FM 放送を聴く

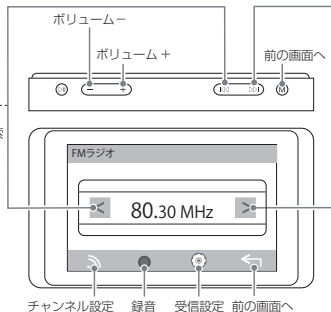
■受信中の基本操作

ボリュームー

ボリューム＋

前の画面へ

（プリセット解除時）0.1MHzずつ受信周波数を下げる
（プリセットモード時）前のプリセットチャンネルを受信

長押し （プリセット解除時のみ）周波数を下げていき、受信可能な放送を検索

（プリセット解除時）0.1MHzずつ受信周波数を上げる
（プリセットモード時）次のプリセットチャンネルを受信

長押し （プリセット解除時のみ）周波数を上げていき、受信可能な放送を検索

FMラジオ

80.30 MHz

チャンネル設定　録音　受信設定　前の画面へ

よく聴く放送局を登録する（プリセット）

プリセットには最大 30 局まで登録できます。

■自動でプリセットを登録する（自動検索）

ボタン操作 ［チャンネル設定］アイコンタッチ、［自動検索］

FM 放送の全周波数を検索して、受信できた放送を順次プリセットに登録します。

① FM 放送の受信中に アイコンをタッチして、チャンネル設定メニューを表示します。
② ［自動検索］を選択して、▶II ボタンを押すかメニュー項目をタッチします。

■手動でプリセットを登録する

ボタン操作 ［チャンネル設定］アイコンタッチ、［チャンネル保存］

① 登録したい放送局を受信してから、アイコンをタッチして、チャンネル設定メニューを表示します。
② ［チャンネル保存］を選択して ▶II ボタンを押すかメニュー項目をタッチし、登録したいチャンネル番号を選択して、▶II ボタンを押すか ↵ アイコンをタッチします。

プリセットを削除する

ボタン操作 ［受信設定］◉ アイコンタッチ、［チャンネル削除］

登録したプリセットを削除します。

① FM ラジオ受信中に ◉ をタッチして受信設定メニューを表示します。
② ［チャンネル削除］を選択して、▶II ボタンを押すかメニュー項目をタッチします。
③ 表示されるプリセットチャンネル一覧から |◀◀ / ▶▶| ボタンを押すか画面の ＜/＞ アイコンをタッチして、削除したいチャンネルを選択し、▶II ボタンを押すかチャンネルまたは 🗑 アイコンをタッチします。

FM 放送を録音する

ボタン操作 ［録音］● アイコンタッチ

① FM 放送の受信中に、● アイコンをタッチして録音画面を表示します。
② 待機中画面が表示されますので、▶II ボタンを押すか ▶ アイコンをタッチして開始します。
＊録音中に ▶II ボタンを押すか II / ▶ アイコンをタッチすると、一時停止 / 録音再開できます。
＊録音を開始すると、録音ファイルが自動的に作成されます。
保存したファイル名は、FMRCXXX.WAV（XXX：保存番号）となります。
ファイル名は録音終了後に変更可能です。P.33 の［録音したファイルの名前を編集する］をご覧ください。

③ 録音中に M ボタンを押すか ⏎ アイコンをタッチすると録音を終了し、“ファイルを保存しますか？”のメッセージが表示されますので、保存する場合は［Yes］を選択して ▶II ボタンを押すか［Yes］をタッチします。

＊録音中は音量 / 音質の調整ができませんが、待機中に音量 / 音質の設定ができます。下記の［録音音量 / 録音音質］をご覧ください。

＊本製品のメモリの空き容量が少なくなると、録音は自動的に止まります。

＊録音したファイルは［設定］の［ブラウザー］→［RECORD］に保存されます。

＊録音したファイルの再生 / 削除は、P.34 の［ブラウザー］をご覧ください。

・録音時使用環境によってはノイズが入ることがあります。

録音音量を設定する

ボタン操作 ▶ アイコンタッチ

録音音量

録音待機中に録音時の音量を設定します。[1/2/3/4/5]

録音音質を設定する

ボタン操作 ▶ アイコンタッチ

録音音質

録音待機中に録音時の音質を設定します。[中品質 / 高品質]

受信設定メニューを設定する

ボタン操作 ［受信設定］ アイコンタッチ

チャンネル削除

登録したプリセットを削除します。

ステレオ再生

ステレオ放送を受信する設定をします。［オン / オフ］

受信地域

FM 放送を受信する地域を設定します。［中国 / 日本 / アメリカ / ヨーロッパ］

FM ラジオ感度

FM 放送の受信感度を設定します。［高 / 中 / 低］

■画面下のアイコンのメニュー画面を閉じる

M ボタンを押すかメニュー右上の ☒ をタッチしてください。

■ FM ラジオの終了

FM ラジオからメインメニューに戻るとき、［ラジオを終了しますか？］のメッセージが表示されますので、［Yes］を選択して ▶II ボタンを押すか ［Yes］ をタッチして終了します。

録音する

本製品の録音機能は内蔵マイクで行います。

音声を録音する

ボタン操作 メニュー［録音］アイコンタッチ

① 待機中画面が表示されますので、▶II を押すか ▶ アイコンをタッチして開始します。

*録音中に ▶II ボタンを押すか II / ▶アイコンをタッチすると一時停止 / 録音再開できます。

*録音を開始すると、録音ファイルが自動的に作成されます。
保存したファイル名は、VRECXXX.WAV（XXX：保存番号）となります。
ファイル名は録音終了後に変更可能です。P.33 の［録音したファイルの名前を編集する］をご覧ください。

② 録音中に M ボタンを押すか ↵ アイコンをタッチすると録音を終了し、“ファイルを保存しますか？”のメッセージが表示されますので保存する場合は、［Yes］を選択して ▶II ボタンを押すか［Yes］をタッチします。

*録音中は音量 / 音質の調整ができませんが、待機中に音量 / 音質の設定ができます。P.32 の［録音音量 / 録音音質］をご覧ください。

*本製品のメモリの空き容量が少なくなると、録音は自動的に止まります。

*録音した音声はモノラルになります。

*録音したファイルは［設定］の［ブラウザー］→［RECORD］に保存されます。

*録音したファイルの再生 / 削除は、P.34 の［ブラウザー］をご覧ください。

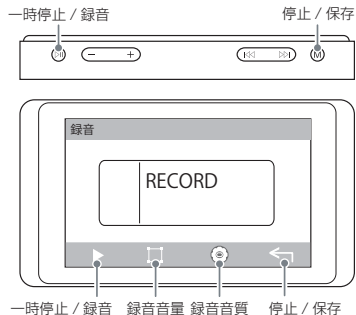
録音する

■録音 / 待機中の基本操作

一時停止 / 録音　停止 / 保存

録音

RECORD

一時停止 / 録音　録音音量　録音音質　停止 / 保存

録音音量を設定する

ボタン操作　アイコンタッチ

録音音量

録音待機中に録音時の音量を設定します。[1/2/3/4/5]

録音音質を設定する

ボタン操作　アイコンタッチ

録音音質

録音待機中に録音時の音質を設定します。[中品質 / 高品質]

録音したファイルの名前を編集する

■ 録音した音声ファイルのファイル名を変更する

① 本製品をパソコンに接続し、パソコンの「コンピュータ」(または「マイ コンピュータ」) に表示される本製品の「RECORD」フォルダ内を表示します。

② 名前を変更したいファイルを選択し、右クリックから「名前の変更」で変更します。

＊音声ファイルを別のフォルダに移動することもできます。

録音したファイルを保存する

■ 録音した音声ファイルのファイルをパソコンに保存する

① 本製品をパソコンに接続し、「コンピュータ」(または「マイ コンピュータ」) から 本製品の「RECORD」フォルダ内を表示します。

② 保存したい録音ファイルを、パソコン上の好きな場所にドラッグします。ファイルがパソコンに保存されます。

＊元のファイルは 本製品に残りますので、不要であれば削除してください。

ファイルを表示・再生する

ボタン操作 メニュー［設定］タッチ、［ブラウザー］

本製品に保存されたすべてのファイルを直接選択して表示・再生できます。

① メニュー［設定］アイコンをタッチして［ブラウザー］を選択し、▶ll ボタンを押すか ↵ アイコンをタッチします。
② I◀◀ / ▶▶I ボタンを押すか画面の ∧ / ∨ アイコンをタッチして表示・再生したいファイルが保存されているフォルダを選択し、▶ll ボタンを押すか ↵ アイコンをタッチします。
③ I◀◀ / ▶▶I ボタンを押すか画面の ∧ / ∨ アイコンをタッチして表示・再生したいファイルを選択し、▶ll ボタンを押すか ↵ アイコンをタッチします。
　＊本製品で表示・再生できない形式のファイルは、ファイル名を見ることだけが可能です。

保存したファイルを削除する

ボタン操作 メニュー［設定］タッチ、［ブラウザー］

本製品に保存されたファイルは下記の方法で削除することができます。

① メニュー［設定］アイコンをタッチして［ブラウザー］を選択し、▶ll ボタンを押すか ↵ アイコンをタッチします。
② I◀◀ / ▶▶I ボタンを押すか画面の ∧ / ∨ アイコンをタッチして削除したいファイルが保存されているフォルダを選択し、▶ll ボタンを押すか ↵ アイコンをタッチします。
③ 🗑 アイコンをタッチし、削除したいファイル名の右に表示されている 🗑 アイコンをタッチします。
④ 確認のメッセージが表示されたら［Yes］を選択して、▶ll ボタンを押すか［Yes］をタッチします。

削除に関する注意	.BIN .SYS .DRM などで終わる名称のファイルは、本製品の動作に必要なファイルです。ご自身でコピー，録音したファイル以外は、間違って削除しないようご注意ください。

設定する

本製品の各種機能を用途に合わせて設定できます。

設定メニューを設定する

ボタン操作 メニュー［設定］アイコンタッチ、［設定］

画面表示設定

画面表示の設定をします。

画面点灯時間	何も操作せずに設定した時間が経過すると、自動的にバックライトが消灯する時間を設定します。[5 秒 /10 秒 /15 秒 /20 秒 /30 秒 / 常にオン]
輝度	画面の明るさを設定します。 [(暗い) レベル 1/ レベル 2/ レベル 3/ レベル 4/ レベル 5 (明るい)]
バックライトモード	画面点灯時間で設定した時間が経過したあとの画面状態を設定します。 [画面オフ / 輝度を下げる]

TV 出力設定

テレビに接続したときの出力方式を設定します。日本の場合は NTSC を選択します。

[PAL50/PAL60/NTSC]

G センサー設定

本製品を振ったときに次の曲または画像へスキップする設定をします。

音楽再生［停止 / 開始］, 写真再生［停止 / 開始］

＊動画再生には対応していません。

キーロック時間

何も操作せずに設定した時間が経過すると、自動的に画面操作がロックモードになります。
[10 秒 /30 秒 /5 分 /10 分 / キーロック無効]
＊解除するには、電源スイッチを下へスライドさせてから上へスライドさせます。

自動シャットダウン

何も操作せずに設定した時間が経過すると、自動で電源をオフにする設定をします。
時間を設定すると常に自動で電源をオフにします。
[3 分 /5 分 /10 分 /15 分 /20 分 / 無効]

電源オフ設定

設定した時間が経過すると、自動で電源をオフにする設定をします。
一度電源がオフになると［常にオン］に戻ります。
[15 分 /30 分 /45 分 /60 分 / 常にオン]

システム設定

本製品のシステム設定をします。

システム情報	ファームウェア情報，メモリの空き容量を表示します。
システム復元	設定項目を初期化します。［Yes/No］
システムのアップデート	本製品に新機能を追加したり使いやすさを向上させるため、システムアップデート（ファームウェアアップグレード）を行います。 ＊アップグレードの方法につきましては、「アイリバーサポートセンター」（P.44）にてご確認ください。

システム言語選択

メニュー表示などに使用する言語を設定します。

＊日本語他 20 ヶ国語から設定が可能です。

＊日本語表示に設定されていない場合は、［日本語］を選択し ▶II ボタンを押すか ↵ アイコンをタッチして設定してください。

タッチスクリーン設定

タッチパネルのキャリブレーション（調整）をします。（5 ヶ所）

カレンダーを設定する

ボタン操作 メニュー［設定］アイコンタッチ、［カレンダー］

時間設定

時間を設定します。

＜/＞：カーソルを移動　∨/∧：数字を選択　［Yes］をタッチして決定

時計表示

時計の表示方法を設定します。［AM/PM / 24H］

日付設定

日付を設定します。

＜/＞：カーソルを移動　∨/∧：数字を選択　［Yes］をタッチして決定

日付表示

日付の表示方法を設定します。

［YYYY（年）/ MM（月）/ DD（日）/ MM/DD/YYYY / DD/MM/YYYY］

故障かなと思ったら

状況	原因	解決方法
電源がオンにならない	バッテリが不足している	AC アダプターまたは USB ケーブル，USB コネクタでパソコンと接続し、充電してください。
	本製品がシステムエラー状態	電源スイッチを入れ直してください。
接続しても充電されない	USB ケーブルまたは USB コネクタの接続不良	USB ケーブルまたは USB コネクタが正しく接続されているか確認してください。USB ハブを使用している場合は、パソコンの USB 端子に直接接続してください。
音が聞こえない	音量が 0 になっている	本製品上面のボリュームボタンを押して、正しい音量に変更してください。
	イヤホンの汚れ	イヤホンプラグまたは接続端子が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、汚れをふき取ってください。
	音楽ファイルの破損	他の音楽ファイルでも音が出るか確認してください。特定のファイルだけ音が出ない場合は、バックアップと入れ替えるなどを試してください。
ボタンが操作できない / 画面が操作できない	ホールド機能がロック状態になっている	電源スイッチが下へスライドされている場合は、上へスライドさせてください。下へスライドされていない場合は、一度下へスライドしてから上へスライドさせてください。
音楽ファイルの再生中に雑音がする	イヤホン端子の接触不良	市販の端子クリーナーで、イヤホン端子に付着した汚れを清掃してください。
	音楽ファイルの破損	他の音楽ファイルでも同じ雑音が出るか確認してください。特定のファイルだけで雑音が出る場合は、バックアップと入れ替えるなどを試してください。
ファイルの転送に失敗する	USB ケーブルまたは USB コネクタの接続不良	USB ケーブルまたは USB コネクタが正しく接続されているか確認してください。USB ハブを使用している場合は、パソコンの USB 端子に直接接続してください。
画面に文字が表示されない。もしくは正しく文字が表示されない	言語設定が正しくない	［設定］-［システム言語選択］で、お使いの言語を選択してください。

故障かなと思ったら

状況	原因	解決方法
テレビに映像が映らない	AV ケーブルの接続不良	AV ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	TV 出力が間違っている	お使いのテレビに合った［TV 出力設定］に設定してください。
FM 放送の受信状態が悪く、雑音がひどい	イヤホンが外れている、接触不良	イヤホンがしっかり接続されているか確認してください。 ※イヤホンコードは、ラジオのアンテナの役割をします。イヤホンが本製品に接続されていないとラジオの受信状態は悪くなります。
	イヤホンコードの向きが悪い	本製品とイヤホンの位置を調整してください。
	周囲で雑音が発生している	周辺にある電気製品の電源をオフにしてみてください。
	イヤホンの汚れ	イヤホンプラグまたは接続端子が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、汚れをふき取ってください。
音声が録音できない	空き容量が不足している	不要なファイルを削除してください。
	バッテリが不足している	充電してください。
液晶画面がたびたび消える	バックライトモードが設定されている	［バックライトモード］を［輝度を下げる］に戻すか［画面点灯時間］をお好みの時間に設定し直してください。
電源がたびたびオフになる	自動シャットダウン機能が設定されている	［自動シャットダウン］をお好みの時間に設定し直してください。

製品仕様

モデル		M42
主な機能	再生・視聴	音楽 / 動画 / 画像 /FM ラジオ / 録音

分類	項目	仕様
本体寸法	(W) ×(H) ×(D)mm	約 89(W)× 50(H)× 12(D)mm
重量	本体	約 63.0g
電源	充電池タイプ	リチウムポリマー内蔵充電池
充電時間	USB による充電	約 3 時間
ディスプレイ	タイプ	TFT カラー LCD
	サイズ	3 型
	解像度	400 × 240 pixel
	表示色	6 万 5 千色
メモリー	タイプ	NAND フラッシュメモリー
スロット	カードスロット	microSD カードスロット
	対応カード *	SDHC 32GB まで対応
USB	USB ストレージクラス	対応
	インターフェイス	USB 2.0, ミニ端子
オーディオ	周波数特性	20Hz ~ 20KHz
	イヤホン出力	(L)5mW +(R)5mW(32 Ω)Φ 3.5 ミニステレオ端子

* すべてのメーカー / 種類の microSD カードの動作を保証するものではありません。

製品仕様

分類	項目	仕様
音楽再生	対応ファイル形式	WAV, MP3, WMA, OGG, ASF, FLAC, APE, AAC
	対応レート	MP3/WMA：8 ～ 320kbps，OGG：Up to Q10，FLAC：0 ～ 8kbps，AAC：32 ～ 192kbps
	S/N 比	95 dB
	ID3 タグ	ID3 V2.3
	イコライザー	プリセット：7 種類（Normal/PlayFX/Rock/Pop/Classic/Bass/Jazz） その他：User EQ
	リピートモード	1 曲再生 /1 曲リピート / 全曲再生 / 全曲リピート / イントロ再生
	再生モード	通常再生 / シャッフル再生
	区間リピート	A-B リピート
	その他の機能	歌詞表示，フェードイン，G センサー
動画再生	対応ファイル形式	RM，RMVB，AVI，MPEG（1,2,4），WMV，FLV（H.263)
	フレームレート	15fps
	リピートモード	一回再生 / すべて再生 / すべてリピート
画像再生	対応ファイル形式	JPEG，BMP，GIF
	最大ファイルサイズ	1000 万画素
	画像表示時間	終了 /5 秒 /10 秒 /15 秒
	その他の機能	G センサー，自動回転，壁紙設定
FM ラジオ	周波数	76.0MHz ～ 108.0MHz
	地域	日本 / 中国 / ヨーロッパ / アメリカ
	アンテナ	イヤホンコード

製品仕様

分類	項目	仕様
録音	録音機能	ボイス録音，FM 録音
	録音ファイル形式	WAV(モノラル)
	録音品質 (サンプリングレート) (ビートレート)	ボイス録音：(高)32kHz,(低)11kHz FM 録音：(高)22kHz,(低)11kHz
		ボイス録音：(高)128kbps,(低)45kpbs FM 録音：(高)180kbps,(低）92kbps
連続再生時間	音楽	約 12 時間（MP3，128kbps，Vol16，EQ ノーマル，LCD オフ）
	動画	約 4.2 時間 (付属のアプリケーションで Quality:high に設定した場合)
表示言語	言語数	20 ヵ国語（中国語は簡体 / 繁体）
対応 OS	Windows	Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000
ボリューム	ステップ	32
環境条件	動作環境	+5℃～ +35℃
	保存温度	-20℃～ +60℃

お客様サポート

製品サポート総合案内 http://www.iriver.jp

iriver の Web サイトの「お客様サポート」には、製品別に Q&A（よくある質問）が用意されています。また、ファームウェア，ソフトウェア，取扱説明書などの最新版をダウンロードすることもできますので、問題解決にぜひお役立てください。

カスタマーサポート

①製品保証書の記入事項

本製品のパッケージには、製品保証書（クイックスタートガイド）が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より［購入日］と［販売店印］欄などの記入をお受けください。製品保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また､クイックスタートガイドには保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

②修理をご依頼の前に

iriver の Web サイト（http://www.iriver.jp）の Q&A（よくある質問）をよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバー サポートセンターまでご相談ください。お客様がプレーヤーに録音したファイルの損失ならびに障害につきましては、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。修理や点検に出す際には必ずバックアップをお願いいたします。修理や点検のためにプレーヤーが初期化される場合があります。

アクセサリー・オプション品に関するご注文は

03-6739-3803 受付時間 10:00～20:00 土・日・祝祭日 11:00～20:00（年末年始を除く）

http://www.iriver.jp/support/

ご購入後のサポートに関するお問い合わせは

アイリバー サポートセンター

0570-002-220 受付時間 10:00～18:00（土・日・祝祭日、年末年始を除く）